

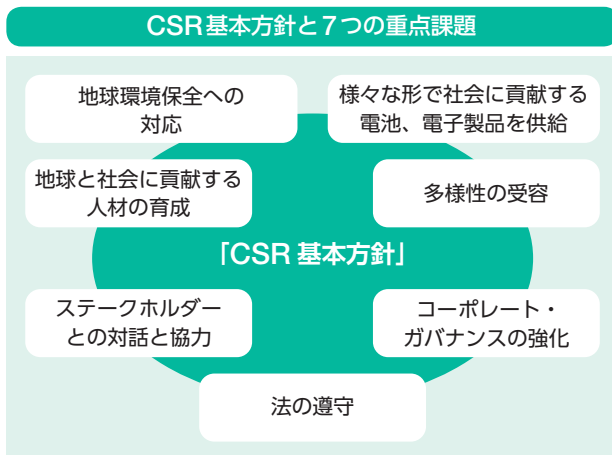
# CSR マネジメント

## FDKグループCSR基本方針

- FDKグループのCSR基本方針は、FDKグループで働くすべての人が積極的に実践すべき内容を示した「FDK企業行動指針」および富士通グループの一員としてのグループ理念である「FUJITSU Way」を実践することです。
- 我々は、「お客様にご満足いただける電池、電子製品の開発・供給により3E社会（環境保全・省エネルギー・経済発展）の実現に寄与し、様々な形で社会に貢献できるエネルギーマネジメントメーカーを目指す。」という方針のもと、すべての事業活動において、マルチステークホルダーの期待と要請を踏まえ「FDK企業行動指針」および「FUJITSU Way」を実践することにより、地球と社会の持続可能な発展に貢献してまいります。
- CSRの実践にあたっては、7つの課題に重点的に取り組みます。
- これらの課題への対応を通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進します。

## CSR基本方針に基づく重点課題

CSRの実践にあたっては、CSR基本方針に基づく次の7つの課題に重点的に取り組んでいます。



## CSR活動推進体制

FDKグループのCSR活動の基軸となる「FDK企業行動指針」および「FUJITSU Way」の浸透、定着を一層推進するため、FDKではCSR推進委員会を設置しています。

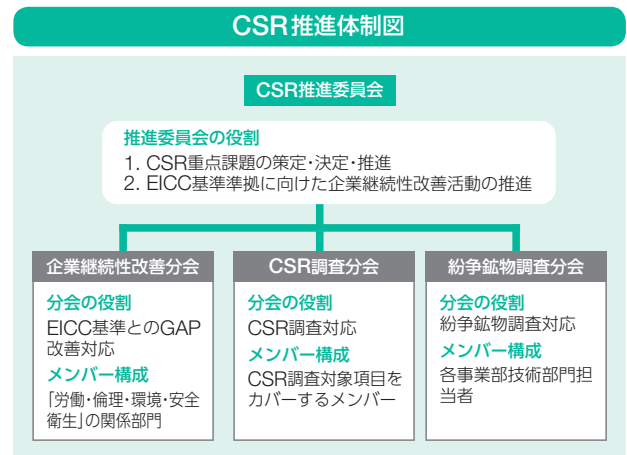
CSR推進委員会は、FDKグループの横断的なCSRマネジメント推進のため取締役（コーポレート担当）を委員長、CSR・広報IR室を事務局とし、7つの重点課題の取り組み状況の確認、CSRに関連した情報や取り組みの確認などにより持続可能な社会とビジネスの在り方などについて定期的なレビューを行なっています。

国際的なCSR規範であるEICC（電子業界行動規範：Electronic Industry Citizenship Coalition）への準拠推進やお客様からのCSRに関する調査・要請への適確な対応、紛争鉱物\*の適切なマネジメントを目的とした3つの分会組織を設け活動しています。

またFDKグループのCSR基本方針、重点課題・施策、活動実績等を掲載し、方針、状況、課題の社内共有を目的とした社内ホームページを設けています。

\*紛争鉱物：その採掘や取引が武装集団の資金源となり紛争を助長している、あるいは、人権侵害、労働問題などと密接に関連している鉱物。

2010年7月に米国で成立した「金融規制改革法」においては、コンゴ民主共和国および隣接国において産出される鉱物のうち、タンタル、錫、金、タングステン、その他国務省が判断する鉱物を紛争鉱物として、米国上場企業に対し、紛争鉱物を使用する場合の米国証券取引委員会（SEC）への報告義務などが定められた。



## CSRに配慮した調達活動

FDKグループは、「FDKグループCSR基本方針」、「FDK企業行動指針」および「FUJITSU Way」に基づき、お取引先とともに、CSRに配慮した調達活動を推進していくために「CSR調達指針」をまとめました。

本指針を遵守した調達活動をするとともに、サプライチェーンを構成するお取引先にも同様に本指針の遵守をお願いしています。